

平成 29 年 1 月 6 日（金）14 時配布  
つくばエキスポセンター

**プラネタリウム新番組**  
**「わくわく惑星ツアー ～太陽系最前線～」**  
**1 月 13 日（金）試写会のご案内**



つくばエキスポセンター（館長：田中 敏（たなか さとし））では、オーバーホールのため、平成 28 年 12 月 3 日からプラネタリウムを休演していましたが、この程作業を完了し、1 月 14 日（土）から 5 月 28 日（日）まで、冬春のオリジナル新番組「わくわく惑星ツアー ～太陽系最前線～」を上映します。

今回のオーバーホールでは、星の明るさが 2 倍になり、ぐっと見やすくなりました。

新番組では、惑星をめぐるツアー形式で太陽系に残された謎を紹介しています。近年探査が行われたばかりの冥王星と準惑星ケレス、存在が予測されている第 9 惑星 X についての最新情報を盛り込み、太陽系の最前線に迫ります。最新情報に基づき、太陽系天体を網羅して全天周映像化した作品は本邦初です。「宇宙女子」として活躍中の黒田 有彩（くろだ ありさ）さん※1 が、初めてプラネタリウム番組のナレーターを務めています。

つきましては、一般公開に先立つ 1 月 13 日（金）に、報道機関の方々に新番組の紹介をさせて頂く試写会を以下の通り行いますので、よろしくお願い申し上げます。

<試写会概要>

日時：	平成 29 年 1 月 13 日（金）／11：00～12：00（受付 10：30～） ※終了後、1 月 14 日（土）リニューアルオープンの「ほし☆カフェ」内覧（試食あり）を実施します。
場所：	つくばエキスポセンター プラネタリウムホール
式次第：	10：30～ 受付開始（プラネタリウムホール前） 11：00～11：10 番組概要説明 11：10～11：50 試写 11：50～12：00 質疑応答
集合：	原則 11:00 までに会場（別紙地図参照）までお越しください
申込：	参加を希望される方は、別紙の申込書に必要事項をご記入のうえ、1 月 12 日（木）までに FAX にてお申し込みください。

※番組の内容については次ページをご覧ください



<新番組について>

1. 番組紹介

土星のリング、金星の風、水星の巨大核など、太陽系はまだ多くの謎を秘めています。「宇宙女子」の黒田有彩さんと一緒に、太陽系の謎を探る惑星ツアーに出かけてみましょう。一昨年に探査が行われたばかりの冥王星と準惑星ケレスの最新情報や、その存在が予測されている第9惑星Xについても紹介します。

**太陽系に残された謎**

土星のリングはどうしてできたのか、金星にはどうして強風が吹き荒れているのか、水星の核はどうして大きいのかなど、太陽系にはまだ解明されていない謎が多く残されています。番組を見た後も謎の答えが気になり、太陽系の探査や研究から目が離せなくなるでしょう。

**太陽系の最前線を最新データと共に紹介**

準惑星の冥王星とケレスは、平成 27 年に初めて探査機が到達して探査が行われました。これまで謎に包まれていた天体の表面の様子や内部構造について、迫力のある全天周映像で紹介します。

**「宇宙女子」の黒田有彩さんによるナレーション**

※1) ナレーションは、「宇宙女子(うちゅうじょし)」として活躍しているタレントの黒田 有彩(くろだ ありさ)さんが担当しました。大学で物理学を専攻したという経歴を持ちながら、親しみやすいキャラクターでテレビ番組にも出演中の彼女が、プラネタリウムのナレーションに初挑戦。太陽系について、楽しく、分かりやすく解説します。

2. 概要

タイトル:	わくわく惑星ツアー ～太陽系最前線～
上映期間:	2017年1月14日(土)～5月28日(日)
上映時間:	上映約40分間 1月・2月の平日 13:00～、14:30～ / 土日祝 13:00～、15:30～ ※希望があれば団体専用枠(団体20名以上、平日10:10)でも上映します。 ※英語の副音声、日本語の補聴援助システム(磁気ループ、イヤホン)の利用が出来ます。(※字幕投影は2/4(土)以降の開始を予定しております)
料金:	プラネタリウム券(入館含む) おとな820円 こども(4歳～高校生)410円
休館日:	月曜日(祝日の場合は翌日)・月末最終火曜日(1/31、2/28(3月以降は開館))・臨時休館あり
監修:	関根 康人(せきね やすひと)氏 (東京大学大学院理学研究科地球惑星科学専攻准教授)
声の出演:	黒田 有彩(くろだ ありさ) / ナレーター
企画:	つくばエキスポセンター
制作:	エクスプローラーズ ジャパン株式会社

## ＜プラネタリウムのオーバーホールについて＞

プラネタリウムは約1ヶ月半（工期：平成28年11月28日（月）～平成29年1月12日（木））の期間、お休みをいただき、光学式プラネタリウムのオーバーホールをおこないました。

プラネタリウムの『顔』である、球体の星を映し出す恒星球は、コニカミノルタプラネタリウムの工場に運ばれ、全ての部品が外されました。

電源、ランプを点灯する基板、ランプの光を星の原版まで導く光ファイバーケーブル等、主要部品が新品に交換され、そうでない部品もピカピカに磨き上げられて帰って来ました。

その他、恒星球の昇降機、映像音響機器の拡充を行っております。

これにより、オーバーホール後のプラネタリウムは以下のように変わりました。

1. 星の明るさが約2倍あかるくなり、より見やすい星空になりました。
2. 講演会での映像が明るくくっきり見えるレーザープロジェクタを導入。
3. より安定した故障、不具合を起こさない運用ができるようになりました。

新しく生まれ変わったプラネタリウムを、新番組とともに、お楽しみください。



恒星球

### ＜本件に関する問い合わせ先＞

つくばエキスポセンター（公益財団法人つくば科学万博記念財団）  
〒305-0031 茨城県つくば市吾妻2丁目9番地 TEL：029-858-1100（代表）  
番組の内容に関する問い合わせ：運営部 徂徠（そらい）  
オーバーホールに関する問い合わせ：運営部 武藤  
リリースおよび取材に関する問い合わせ：総務部（広報）西島  
E-mail：nishijim@expocenter.or.jp

以上